

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：農林水産費 項：農地費 目：農地防災事業費

事業名【新】全国ため池フォーラム開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農地整備課管理調整係 電話番号：058-272-1111(内4234)

E-mail：c11431@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,900 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,900	0	0	0	0	0	1,500	0	4,400
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・本県が進めているため池の防災減災対策について、広く県民に理解してもらうとともに、適正管理の手法や保全の取組事例をため池関係者に知ってもらい、今後のため池の防災力強化につなげていくことを目的として、「第28回全国ため池フォーラム in ぎふ」を開催する。

・全国ため池フォーラムは、平成8年に第1回を大阪で開催し、令和8年度開催の岐阜県で28回目を迎える。岐阜県では初めての開催となる。当大会では、全国の農業農村整備の関係者が一堂に会し、農業用ため池の重要性や役割を広く国民にアピールするものである。

(2) 事業内容

○全国ため池フォーラムの開催

名 称：第28回全国ため池フォーラム in ぎふ

日 時：令和8年11月5日(木)～6日(金)

主 催：岐阜県、岐阜県土地改良事業団体連合会

後 援：農林水産省、全国ため池等整備事業推進協議会、全国農村振興技術連盟

参加者：全国の農業農村整備事業関係者、県民など、約600名

場 所：じゅうろくプラザ 他

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の地域防災力向上に資する取組のため、県が主体となって取り組むべき事業であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	440	講演者謝礼
旅費	50	業務旅費、費用弁償
需用費	110	
役務費	72	通信運搬費
委託料	4,370	全国ため池フォーラム
その他	858	
合計	5,900	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略での位置づけ
 - 2 健やかで安らかな地域づくり
 - (2)安らかに暮らせる地域
 - ④災害と危機事案に強い岐阜県づくり

(2) 国・他県の状況

全国ため池フォーラムは、第1回を平成8年度に大阪府で開催し、各都道府県持ち回りで毎年開催しており、岐阜県では初めての開催。

(3) 後年度の財政負担

令和8年度のための単年度事業であり、後年度の財政負担はない。

(4) 事業主体及びその妥当性

農業用ため池の防災減災対策を進める岐阜県が主体となって取り組むべき事業である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

各都道府県の持ち回りで開催している全国ため池フォーラムを令和8年度は岐阜県で開催し、本県が進めているため池の防災減災対策について、広く県民に理解してもらうとともに、適正管理の手法や保全の取組事例をため池関係者に知ってもらい、今後のため池の防災力強化につなげていくことを目的とする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R7)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①全国ため池 フォーラムの開 催	0			1	1	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

農業用ため池の防災減災対策を進めていくため、次年度以降も国や他県の動向を見ながら引き続き対策を進めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】